

書名 項目	<h2 style="text-align: center;">中学器楽 音楽のおくりもの</h2>	17 教 出
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○楽器の構え方について複数の角度からの写真で示し、ページごとに曲を演奏する際に必要な音の指使いが示されている。            ○学びのねらいが各ページに示され、見開きごとに学習の全体を見通せる構成にしている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○「何が同じで、何が違う？」では楽器を比べ、共通点や相違点について思考し、書き込めるようになっている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○「合わせて演奏しよう」では自分の思いや意図を大切にしながら他者と協働し、表現を工夫できるようにしている。         </p> <p> <b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫&gt;</b>            ○リコーダーの楽曲は、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーのどちらでも学習できるようにしており、スモールステップで段階的に進められる。            ○「Let's play」「Let's try」では体験活動ができるよう、工夫している。         </p> <p> <b>&lt;生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>            ○演奏家から中学生に向けたメッセージを掲載し、音楽文化と豊かに関われるよう工夫している。            ○楽器ごとの口唱歌を掲載し、伝統的な音楽に親しみやすくしている。         </p>	
資 料	<p>           ○巻頭に演奏する楽器や比較鑑賞する楽器を掲載している。            ○巻末にギター・キーボードのコード表を写真やイラスト共に掲載している。            ○「まなびリンク」では音声や映像を視聴したり、資料をダウンロードしたりできる。         </p>	
表記・表現	<p>           ○本文などではUDフォントが使用されている。            ○和楽器の教材は、五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されている。            ○巻末の「いろいろな用語、記号」で音符・休符・記号等の解説をまとめて掲載している。         </p>	
総 括	<p>           ○各楽器の基礎の習得から技能に応じた応用まで、系統的に取り上げており、発展では発展的な音楽活動を示し、音楽文化に豊かに関われるようにしている。            ○口唱歌を掲載し、我が国の伝統的な音楽文化に親しみやすくしている。         </p>	

書名 項目	<h1>中学生の器楽</h1>	27 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">教 芸</div>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○アルトリコーダーは平易なものから段階的に進めることができるように演奏曲を組んでいる。曲の演奏に必要な運指をそのページに記載している。            ○学習目標と音楽を形作っている要素、具体的な学習活動を提示し、学習を見通せる構成にしている。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○「深めよう！音楽」では思考の手順が示されており、協働学習により深い学びにつながるができる。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○「アンサンブルセミナー」では自分の思いや意図を大切にしながら他者と協働し、表現を工夫できるようにしている。         </p> <p> <b>&lt;音楽活動の基礎的な能力を伸ばす工夫&gt;</b>            ○生徒の発達段階に適した曲が選定されており、アンサンブルの曲を多数掲載している。            ○「My melody」では創作活動と関連付けて学習できるようにしている。         </p> <p> <b>&lt;生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための工夫&gt;</b>            ○演奏家からのメッセージを掲載し、音楽文化と豊かに関われる工夫がされている。            ○同世代の音楽活動の様子や身近な演奏家の写真や曲を掲載し、生活や社会の中の音楽に豊かに関われる工夫がされている。         </p>	
資 料	<p>           ○打楽器の演奏方法について写真でわかりやすく示している。            ○巻末にギター・キーボードのコード表を写真やイラストと共に掲載している。            ○QR コードで演奏家の実際の演奏を視聴することができる。         </p>	
表記・ 表現	<p>           ○本文などではUD フォントが使用されている。            ○和楽器の教材は、五線譜と和楽器固有の奏法譜が示されている。            ○巻末の「音楽の約束」で音符・休符・記号等の解説をまとめて掲載している。         </p>	
総 括	<p>           ○小学校とのつながりを意識したりコーダーの楽曲やアンサンブル曲が充実しており、基礎的な技能の向上につながるようにしている。            ○各楽器の基礎の習得から技能に応じた応用まで、系統的に取り上げており、鑑賞と器楽の学習活動の関連を図り、深い学びにつながるようにしている。         </p>	